

2003.4.15 現代日本論演習 I (田中重人)

第2回「SPSS 入門」目次

1. データの配布
2. SPSS のウィンドウ構成
3. メニューとシンタックス
4. 変数値の再割り当て
5. 出力の読みかた・印刷

【データの配布】

1995年SSM調査B票の一部

★ 全国から70歳以下の有権者を
層化2段無作為抽出

★ 訪問面接法

cf. 『日本の階層システム』（全6巻）
東京大学出版会、2000年。

★ 意識項目と基本的属性に限定

(調査票の×印はデータセットにない項目)

★ 250 ケースをランダムに抽出

★ 未公開のデータなので
流出しないように

★ 変数ラベルは菅野剛
(日本大学) 氏による

【データ・セット】

- ★ ケース × 変数
- ★ 変数は変数名で管理
- ★ 変数名以外に「ラベル」
- ★ 無回答などの欠損値 (.)

【SPSS のウィンドウ構成】

- データ・エディタ
- シンタックス・エディタ
- 出力ビューア

【メニューとシンタックス】

- ★ 分析手法をえらぶ
- ★ 必要なオプションを指定
- ★ 「貼り付け」をクリック
- ★ シンタックスの必要部分を選択して実行 (▶)

【変数値の再割り当て】

データエディタのメニューバーで

- 「変換」 → 「値の再割り当て」
→ 「他の変数へ」
- 変換先変数の名前をつける

- 「今までの値と新しい値」
- 値の組を指定したら「続行」
- シンタックスを貼付けて実行
- 新変数の度数分布を確認
- 問題がなければデータセットを保存する

【出力ビューア】

- ★ 左側に目次、右側に出力内容
- ★ エラー表示もここに出る

【印刷】

- ★ 左側の目次で選択
- ★ 電源の入れかた
- ★ 出力先の切り替え
- ★ ジョブの確認・取り消し
- ★ 印刷前にプレビュー
- ★ タイル印刷 (2面, 4面, ...)

【実習】

本人年収 (Q44_1)を 5~7 程度の
適当な間隔に区切って度数分布表
を出力し、印刷して提出